

# 6月定例会 総括質問 主な質問と答弁

永田 美典 議員

## 市政運営を問う

**問** 市長就任以降の事業の評価と課題について伺う。  
**市長** 小児医療費の助成対象の拡大、防災対策の推進など、喫緊の課題に着実に取り組めたとと思う。  
**問** 地震などの防災対策の進捗状況を伺う。  
**市長** 8月までに津波ハザードマップと地震防災マップを全戸に配布する。  
**問** 津波からの避難ルートについての考えを伺う。  
**市長** 防災マップを活用し、地域の事情に合った避難方法を明確にしたい。  
**問** マニフェストに掲げた事業の今後の優先順位は。  
**市長** 「市民、団体が活動しやすいまちづくり」「産業連携の支援」「ツインシティを主としたまちの広がり」の基盤整備に重点的に取り組む。

## 組織改正を問う

**問** 市の「公共施設総合調整担当」にファシリティマネジメントが可能な人事配置をすべきではないか。  
**市長** 公共施設の管理基本方針を策定し、資産管理の取り組みを進めている。

## 公明ひらつか

### 公共施設のストックマネジメント

**総務部長** 組織改正の中でも検討すべき課題である。  
**問** 本市では公共施設の耐震化に比べ、長寿命化が遅れている。手遅れになる前にストックマネジメントを推進し、強化を図るべきと考えられるが、見解は。  
**総務部長** 進めなければいけない課題である。  
**問** 施設の経営と管理をどう考え、取り組むのか。  
**総務部長** 「協働経営プラン」に施設の再編などを盛り込み進めている。分析に

### 秋澤 雅久 議員

#### 防災・減災対策

**問** 東日本大震災を受けて、誘導標識の管理や表示に関する適格性は調査・検討したのか。  
**副市長** 避難誘導標識などには、広域避難場所の施設名と方向を示す矢印を表示しているが、現在地点からの距離や所要時間などの表示はない。今後、より適した誘導標識の表示や管理、避難誘導の在り方を検討していく。  
**問** 「公明ひらつか」として行った、さまざまな防災に関する提案についての進捗状況を伺う。  
**副市長** 被災者支援システムに代わる情報共有化システムについては、本年12月

踏み込んで施設のマネジメントを推進したい。  
**問** 学校施設の耐震化に関して、非構造部材の点検は実施できるか。  
**総務部長** 今年度内に実施し、結果を議会に報告する。  
**問** 公共施設を適切に維持管理するための、種類や枠を超えた施設の一元管理化に対する研究成果を伺う。  
**総務部長** 「公共施設総合管理基本方針」を策定し、情報のデータベース化に取り組んでいる。管理の一元化については困難な要因が多く、考えていない。  
**問** 長寿命化事業を進める

以降の導入に向けて取り組んでいく。それまでの期間には、庁内のイントラネットなどの既存のシステムを活用することにより、災害時の各班間の情報共有を図り、被災者支援への対応を行うしていきたい。HUG(避難所・運営・ゲーム)については、今年度、市民団体との協働事業の一環として開催する「地域防災活動者育成研修」においての導入を計画している。BCP(業務継続計画)見直しの見直しについては、平成24年内を目標に平塚市地域防災計画の改訂作業を進めており、またICT-BCP(情報通信技術部門業務継続計画)も策定を進めていることから、これら関係する計画の進捗に応じ、随時見直していく。

### 「工事一時中止」のガイドラインの策定

**問** 不測の事態で公共工事を一時中止する際のガイドラインを策定する考えは。  
**経済部長** 国土交通省のガイドラインを準用している。  
**地域維持型契約方式**  
**問** 建設業界が小規模化し、一定の労働力や機械が必要な地域維持を行える企業が減少して最低限の地域維持ができなくなる懸念があるが、より包括的な契約ができるこの方式への見解は。  
**総務部長** 業務が分散化されず、受注機会が減少するため、本市には適さない。

### 通学路の安全確保

**問** 国は通学路の緊急合同点検を行うよう通知を発した。本市ではどのような手順・体制で臨むのか。  
**学校教育部長** 各小学校から危険箇所の報告を受け、教育委員会が合同点検の必要な箇所を抽出し、まずは庁内関係課で調整する。次に学校や警察などと連携し、緊急合同点検を実施する予定である。  
**問** 合同点検を定期的に行い、各部署の連携をより実効性のあるものにするべきと考えられるが、見解は。  
**学校教育部長** 今後は新しい危険箇所が報告された場合にに対応する。点検後は庁内の連絡会議を活用し、警察などと連携を図りながら取り組みを進めたい。

### 伊東 尚美 議員

#### 幼保一元化について

**問** 認定こども園は就学前の子供に教育、保育、子育て支援を一体的に提供する施設だが、幼保一元化に対する本市の考え方を伺う。  
**健康・こども部長** 幼稚園と保育園を統合するだけでなく、子育て支援機能の拡充と待機児童の解消を目指した取り組みだと考える。  
**問** 来年度の総合計画実施計画に具体的な方針を打ち出すべきと考えられるが、見解は。  
**健康・こども部長** 幼保一元化検討会での結果を踏まえ、25年度版実施計画への位置づけを検討していく。

#### 待機児童の対策

**問** 直近の待機児童数は。  
**健康・こども部長** 6月1日現在65人となっている。  
**問** 入所定員の弾力運用にも限度がある。最近では「住むなら保育所に入れるところ」などの声も聞かれるが、本市はどう考えるか。

## 常任委員会の議案審査の概要

### 曲都市建設常任委員会

議案3件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。  
**◆主な質疑**  
**○議案第47号「平成24年度平塚市一般会計補正予算」**  
**問** 消防費に関して、消防施設の解体工事費が計上されているが、その内訳と工事の予定を聞きたい。  
**答** 今回の補正を行う2800万円のうち、大野出張所の解体費に1200万円程度、残りを消防総合訓練場の解体費に充てる。大野出張所の解体は、引越し完了後すぐに進め、今年度内に完了する予定である。  
**問** 解体後の跡地の活用方法を聞きたい。  
**答** 大野出張所の跡地は東中原住宅の駐車場とする。消防総合訓練場の跡地については、庁内の土地調整会議で検討する。  
**○議案第54号「工事請負契約の締結について（平塚駅西口跨線橋南エレベーター設置工事）」**  
**問** 工事は今年度中に完成するのかが。  
**答** 物理的にスペースがとれず難しいが、引き続き交渉に当たっていききたい。  
**問** そのとおりである。改札内のエレベーターはすでに着工している。本議案の跨線橋南エレベーターと、別工事となる跨線橋北側のエレベーターについては、できるだけ早い段階で進めていきたい。  
**問** エレベーターの設置に伴い、駅西口に送迎車両の停車スペースを設ける考えはないのか。  
**答** 身体障がい者の乗降場を含め、警察と協議を行ってきたが、道路上への設置が認められなかった。  
**問** 送迎車両の乗降場もなくて、何のためにエレベーターを設けるのかというところにならないか。  
**答** 物理的にスペースがとれず難しいが、引き続き交渉に当たっていききたい。

### 教育民生常任委員会

**健康・こども部長** この10年間で7000人を超える定員の拡大を図った。今後はさらに工夫して、待機期間の短縮に努めていく。  
**問** 多様な保育サービスに対応する「保育コンシェルジュ」を設置する考えは。  
**健康・こども部長** コスト面で難しいため、職員の資質を向上し、きめ細かな保育サービスを提供したい。  
**孤立を防ぐには**  
**問** 高齢や障がい、ひとり親など、孤立につながるおそれがある世帯を抱える世帯が急増しているが、本市の現状とサポート体制を伺う。  
**福祉部長** 高齢者調査などで実情を把握し、複合リスク世帯へは必要に応じて関係する部署と連携を図り対応している。  
**議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。また請願1件を審査し、採択すべきものと決定しました。**  
**◆主な質疑**  
**○議案第41号「平塚市印鑑条例の一部を改正する条例」**  
**問** 外国人登録制度が廃止され、新たな制度の下では住民票に記載されない外国人の、滞在中の生活に支障が生じないのか。  
**答** 印鑑登録を抹消される法定外の外国人もいる。しかし、今回の法改正による新しい在留管理制度では対応している。  
**議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。また請願1件を審査し、採択すべきものと決定しました。**  
**○議案第47号「平成24年度平塚市一般会計補正予算」**  
**問** 「子ども教育相談センター」における相談指導事業に関して、相談業務の動向を知りたい。  
**答** 相談の実数に大きな変化はないが、難しい課題を抱えるケースなどもあり、医療機関などとの連携も重要で、きめ細かな指導を行っていることから、延べ件数は増えている。

※行政におけるファシリティマネジメント：行政サービスの向上に努めながら、できる限り少ない経費で最適な施設の経営管理を行う手法  
 ※ストックマネジメント：既存の建築物（ストック）を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な手法